



第 32 回 鉄構塗装技術討論会 開催のご案内

主催：社団法人日本鋼構造協会

協 賛 社団法人色材協会 社団法人土木学会 社団法人日本橋梁建設協会
社団法人日本橋梁・鋼構造物塗装技術協会 社団法人日本鉄鋼協会
日本塗装技術協会 社団法人日本塗料工業会 社団法人腐食防食協会
社団法人日本防錆技術協会

■本討論会は土木学会の CPD プログラムに認定されています。



昨年来、世界経済を牽引してきた巨大企業が次々と破綻あるいは大幅な赤字に転落する世界同時不況へ突入し、我が国の経済もまたまた奈落の底に突き落とされた感が歪めません。また、新型インフルエンザが発生し、ほぼ全世界に広がりましたが、我が国は防疫関係者の努力により何とか水際で防いでいるものの、秋からの本格的なインフルエンザの時期到来とともに新型インフルエンザの第2波による世界的な大流行(パンデミック)がやってくることが懸念されています。また、我が国政府はすべての国民を対象とした一時金給付の配布や大型の補正予算を組んで経済の建て直しを図っています。このような世の中だからこそ国民の生活基盤を守り、経済再生のためにも社会基盤を維持・整備することが重要となっています。しかも従来のような新たな社会基盤を作ることより、現在あるものを大事に長く使ってゆくことが、益々重要となってきました。重要な社会基盤である鋼構造物についても延命・長寿命化を図ることが求められています。このため、さまざまな防食法があるなかで鋼材の防錆防食技術として明治以来の長年にわたり確立してきた技術力と信頼性を有する塗装の重要性が再認識されることが望まれます。このためにも塗装関係者が集まり技術発表と討論する場として、本討論会が活用されることを期待するものです。

本討論会では、より広く鋼構造物に携わる方々が積極的に参加いただけるように本年度も主テーマを設けず、鋼構造物に関する各種課題を解決するための自由な発表を求めることとしました。また、パネルディスカッションも開催しないことにしました。本年度の特別講演には、現在建設中の「東京スカイツリー」と「阪神高速道路(株)の港大橋の維持管理」に関する2つの話題を予定しております。

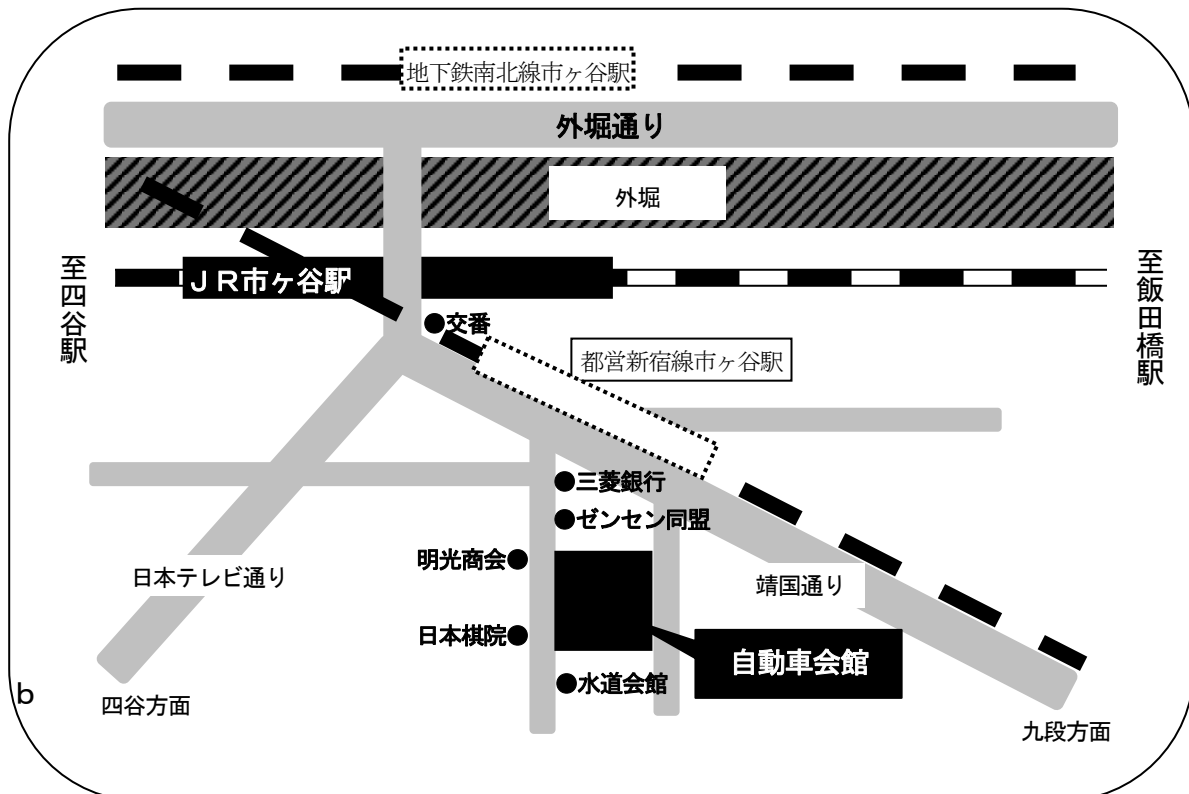
今年度も本討論会へ多数のご参加をいただきますよう、宜しくお願い致します。

実行委員長：守 屋 進(鋼構造物塗装小委員会 委員長)

開催要領

1. 日 時：平成 21 年 10 月 1 日(木)～2 日(金)
2. 会 場：自動車会館 2 階大会議室
〒102-0074 東京都千代田区九段南 4-8-13 (電話) 03-3264-4719
3. 参 加 費：会員 (協賛団体も含む) …10,000 円 (消費税、発表予稿集代込み)
一般 …13,000 円 (消費税、発表予稿集代込み)
4. 申込方法：①別途「申込書」によりお申込み下さい。
② 本協会で払い込みを確認した後、通信欄に記入された FAX 番号もしくは E-mail アドレスに「参加証」を送付いたします。
③講習会会場にて「参加証」をご呈示ください。
④申込者が都合により参加できない場合、代理者の参加はかまいません。
⑤申込み締め切りは開催日の 1 週間前とします。
※お申込み後の参加取り消しおよび欠席者への受講料払い戻しはしません
のでご注意ください (討論会発表予稿集を送付させていただきます)。
5. 申 込 先：社団法人日本鋼構造協会「第 32 回鉄構塗装技術討論会」係
〒160-0004 東京都新宿区四谷 3-2-1 四谷三菱ビル 9 階
TEL. 03-5919-1535 Fax. 03-5919-1536
【E-mail: h.sugitani@jssc.or.jp / m.yamashita@jssc.or.jp】

会場案内図



【第1日】 10月1日（木）

10:30～10:40		開会の辞	鉄構塗装技術討論会実行委員会委員長：守屋 進（(独)土木研究所）	
司 会：後 藤 正 承（神東塗料株）				
①	10:40～11:00 （ショート）	ふっ素樹脂塗料の性能調査と評価 7	○笠原 潔 池田男伊介 引間 聡 益田祥一郎 笹原 大輔 高柳 敬志	旭硝子株 " " " " "
②	11:00～11:30	高耐久性被覆材料 20 年の暴露結果	○高柳 敬志 笠原 潔 池田男伊介 藤田 聡 守屋 進	旭硝子株 " " " (独)土木研究所
③	11:30～12:00	熱帯海洋環境における耐候性塗料の 暴露試験結果 一沖の鳥島における暴露 17 年の結果一	○守屋 進 浜村 寿弘 藤城 正樹	(独)土木研究所 関西ペイント販売株 日本ペイント株

<昼 食：12 時 00 分～13 時 00 分>

特 別 講 演（司 会：守 屋 進（独）土木研究所）			
13:00～14:00	港大橋の長寿命化に向けた取り組み	関上 直浩	阪神高速道路株 技術部 技術開発課 課長代理

<休 憩：14 時 00 分～14 時 15 分>

司 会：山 内 健 一 郎（大日本塗料株）				
④	14:15～14:45	腐食環境の激しい場所（沖縄地区）における 鋼構造物試験体の塗装試験報告 15 年の総括	○前川 清隆 橋本 秀成 守屋 進	(社)日本橋梁建設協会 " (独)土木研究所
⑤	14:45～15:15	8 年間暴露した変性エポキシ樹脂塗料の 防食性能評価	○浮島 文香 鈴村 恵太 石田 雅己 中嶋 泰治	新日鉄エンジニアリング株 " " 日塗化学株

<休 憩：15 時 15 分～15 時 30 分>

司 会：後 藤 宏 明（関西ペイント販売株）				
⑥	15:30～16:00	超長期耐久型防食技術採用に資する 疲労き裂モニタリング技術の開発	○鈴木 実 田中 誠 坂本 達朗	(財)鉄道総合技術研究所 " "
⑦	16:00～16:30	鋼鉄道橋における防食塗装の維持管理に 関する調査	○坂本 達朗 中山 太士 近藤 拓也 田中 誠	(財)鉄道総合技術研究所 西日本旅客鉄道株 " (財)鉄道総合技術研究所
⑧	16:30～17:00	鋼橋の塗膜劣化事例および腐食事例から 学ぶ防食塗装の要求性能	○田中 誠 坂本 達朗 鈴木 実	(財)鉄道総合技術研究所 " "
⑨	17:00～17:20 （ショート）	まくらぎに接する上フランジの塗膜の 劣化メカニズムの検討	○中山 太士 坂本 達朗 西田 寿生 田中 誠 松井 繁之	西日本旅客鉄道株 (財)鉄道総合技術研究所 西日本旅客鉄道株 (財)鉄道総合技術研究所 大阪工業大学

◆17 時 30 分 ～ 19 時 30 分 懇 親 会（場所：2 F 小会議室）

【第2日】 10月2日（金）

司 会：高 柳 敬 志（旭硝子株）				
⑩	10:30～11:00	腐食環境の激しい場所（沖縄地区）における 鋼構造物試験体溶射施工部の耐久性試験 －7年後の調査報告－	○大庭 哲也 前田 博 橋本 秀成 守屋 進	（社）日本橋梁建設協会 " " （独）土木研究所
⑪	11:00～11:30	はく離剤による塗膜除去後の鋼板素地に 対する有機ジンクリッチペイントの塗装 適性に関する検討	○仲根 巧 臼井 明 稲川 友康 守屋 進	山一化学工業株 " " （独）土木研究所
⑫	11:30～11:50 （ショート）	寒冷地用塗装システムの施工性に 関する検討	○藤城 正樹 斉藤 誠 山本 基弘 大山 博昭 後藤 宏明 守屋 進	日本ペイント株 中国塗料株 大日本塗料株 神東塗料株 関西ペイント販売株 （独）土木研究所

＜ 昼 食：11時50分～12時50分 ＞

特 別 講 演 （司 会：守 屋 進（独）土木研究所）			
13:00～14:00	東京スカイツリーの構造概要について	慶伊 道夫	株日建設 構造設計部門 構造設計技師長

＜ 休 憩：14時00分～14時15分 ＞

司 会：船 山 嘉 実（日鉄防蝕株）				
⑬	14:15～14:45	鋼構造物塗装の VOC 削減に関する検討 －水性塗料の適用性検討（その2）－	○中村 宏之 山本 基弘 木村 武久 斉藤 誠 大山 博昭 後藤 宏明 守屋 進	日本ペイント株 大日本塗料株 株トウベ 中国塗料株 神東塗料株 関西ペイント販売株 （独）土木研究所
⑭	14:45～15:15	鋼構造物塗装の VOC 削減に関する検討 －水性塗料の適用性検討（その3）－	○大山 博昭 中村 宏之 木村 武久 斉藤 誠 後藤 宏明 山本 基弘 守屋 進	神東塗料株 日本ペイント株 株トウベ 中国塗料株 関西ペイント販売株 大日本塗料株 （独）土木研究所

＜ 休 憩：15時15分～15時30分 ＞

司 会：斉 藤 誠（中国塗料株）				
⑮	15:30～16:00	土木用防汚材料に関する調査報告 －防汚材料の長期防汚性の検証－	○木村 武久 金井 浩一 守屋 進	株トウベ （財）土木研究センター （独）土木研究所
⑯	16:00～16:30	土木用防汚材料に関する調査報告 －自浄性を有する防汚材料Ⅳ種の性能評価試験－	○石田 則之 金井 浩一 守屋 進	大日本塗料株 （財）土木研究センター （独）土木研究所
16:30～16:40		閉会の辞	鉄構塗装技術討論会実行委員会幹事：斉藤 誠（中国塗料株）	

F A X : 03-5919-1536/宛 先 : 社団法人 日本鋼構造協会 山下 / 杉谷 宛

「第 32 回鉄構塗装技術討論会」参加申込書

1. 申込方法 : 本参加申込書に必要事項を記入の上、参加料の払込証明書と共に、以下の申込先へ F A X または郵送にて御送付下さい。参加料の払込みを確認後、参加証を F A X または E-mail にて送付致します。なお、領収書は郵便局の払込票または銀行の振込明細書を以って替えさせていただきます。

2. 申 込 先 : 社団法人 日本鋼構造協会 山下 美恵子 宛 (または、杉谷 博 宛)

住所 〒160-0004 新宿区四谷 3-2-1 四谷三菱ビル 9 階 FAX:03-5919-1536 TEL:03-5919-1535

3. 申 込 書 : (楷書で御記入願います)

貴社名/事業所名 : _____

住所 : 〒 _____ 都道府県 _____

電話 : _____ F A X : _____

会員区分 : ☐ 鋼構造協会会員 (法人・個人・特別) ☐ 協賛団体会員 (団体名 _____) ☐ 非会員

E-mail : _____

参加者氏名	所 属 ・ 部 署 名 / 役 職 名	金 額
		円
		円
		円
		円
—	金額合計	円

4. 受講料の支払方法 :

【銀行振込の場合】

振込依頼銀行	銀行名・支店名	銀行	支店
	御依頼人 (社) 名		
	振込日	年	月 日
	振込金額	円	

注) ・ 上記項目については、必ず御記入ください (振込明細書の貼付は不可)。

・ 振込先 : 「三菱東京 UFJ 銀行・四谷支店・普通預金 口座番号 1096141」

「みずほ銀行・東京中央支店・普通預金 口座番号 250097」

【郵便振替振込の場合】

払込依頼郵便局	郵便局名	郵便局
	御依頼人 (社) 名	
	振込日	年 月 日
	振込金額	円

注) ・ 郵便口座番号 : 00140-6-99826 加入者名 : 社団法人日本鋼構造協会

・ 記入の代わりに払込証明書の貼付も可 (貼付は最下段の口内に貼付してください)。

5. そ の 他 : 振込/払込の手数料は貴社にて御負担願います。また、参加料は理由を問わず返却しませんので御了承ください。ただし、不参加の場合はテキストを送付します (代理の出席は可です)。

※郵便局払込証明書を貼付する場合は、ここに御願います (別紙として FAX も可です)